

元・気・に・な・る・情・報・誌
よみて

月刊

Yomi

NARA + YAMASHIRO + IGA



グルメやショップ、
温泉クーポンで
得々!!

yomiっこ
クーポン付
41店

4

Vol.268
APRIL 2024



スマホでQRコードを
読み込んでね!

WEB

#めっちゃ
抹茶奈良



心ウキウキ

春グルメ

15選

Contents

- 01.奈良もん 鈴木靴下 / 鈴木和夫さん
言葉あそび575
- 02.奈良の桜八景
- 04.心ウキウキ♪ 春グルメ
- 08.#めっちゃ抹茶奈良<3/1~4/16>
Instagramフォトコンテスト
- 10.2024円の旅
大人も子どもも楽しめる街中散策の旅
- 13.フリートーク&街ネタ、ちさとの星占い
- 14.BOZE数珠つなぎ
金峯山寺 / 林覚道 師
- 16.かわいいな+編集長のメッセージ
- 17.プレゼント+パズル
- 18.クーポン
- 20.SHOP*SHOP
- 21.編集後記

奈良の 桜八景



米と靴下の二刀流が生み出した唯一無二の「米ぬか繊維」

「鈴木靴下」代表 鈴木 和夫さん



株式会社 鈴木靴下 [直営店]

TEL/0745-43-9138 住/磯城郡三宅町小柳1-1
営/10:00~12:00、13:00~17:00
休/日曜・祝日、第2・第4土曜 P/あり
suzuki_kutsushita

株式会社鈴木靴下は三宅町で66年続く靴下工場。米ぬか繊維を使った靴下「歩くぬか袋」が人気で、昨年工場近くに直営店も開業した注目の企業だ。

同社が誇る「米ぬか繊維」はレーヨン繊維に米ぬかの豊富な成分を練り込んだもの。保湿性が高く、肌触りはしっとり滑らか。加えて生地は抗酸化性や消臭機能もあり、また再生繊維で環境にも優しい機能性素材だ。

「一般的に肌に求められる機能をほぼ持ち合わせており、これ以上の糸はないと思います」。そう語るのは開発者である同社代表の鈴木和夫さん。

米ぬか繊維は兼業で米農家を営む鈴木さんの発想から誕生した。精米の過程で捨ててしまう米ぬかをもったいないと感じていた鈴木さん。米ぬかを木綿袋に入れた「ぬか袋」を石鹸代わりに用いたり、学校の床を磨いたりした幼少期の記憶から、ぬか袋のような靴下があれば足もつるつるになるのでは、と考えたそう。

一方で、日常的に米ぬかに触れたことのない人にはその良さが伝わらず、糸の商社からは相手にされなかったという。そこで鈴木さんは平成15年から自身で繊維の開発に着手。靴下と米ぬかを鍋に入れて煮ることから始め、米ぬかや皮膚を研究する専門家の意見も参考に試

作しては、知り合いに配布しアンケートを実施するなど試行錯誤を重ねた。こうして見えてきた課題を基に紡績会社につけあい、開発から約3年をかけて繊維の完成に至った。

製品ができてからも自らの足で販路開拓を行ってきた鈴木さん。「素材の開発から製品の販売まで、全てに携わっている人なんてそういないんじゃないかな」と誇らしげに語る。

なぜここまでできたのか。「私は人より努力しないと周りのレベルについていけなかったんで、粘り強く頑張ることとは得意でした。また誰もやってないことを考えるのが好きだったんでそれも発奮材料だったと思います」

現在は、自身が積み重ねた経験の言語化に努める。鈴木靴下がさらに成長するために属人的にならないシステムを作ることが目的だ。「田舎から都会へ、中小・零細企業から大企業への挑戦だと思って日々進んでいます。ニーズを求めるのではなくウォンツを引き出すような商品を作っていけたら」と鈴木さん。



言葉あそび

4月・卯月

575

特選
道を変えても
工事中
葛城市
幕下 [28p]
美佳子さん

【選評】
毎年年度末になるとなりますよね。作者の苦笑いが見えるよう。それにしても「工事中」をリフレインするとは！思い切った表現が成功しましたね。お見事です。

横綱昇進！
横綱 [150p]
天理市
章男さん

入選
音痴だが
風呂で歌えば
80点
大関 [132p]
奈良市
重雄さん

朝が来た
起きて昼寝の
時を待つ
エネルギー
あるから眠る
お爺ちゃん
十両 [48p]
奈良市
晃さん

論吉さん
この頃やけに
足速い
十両 [44p]
五條市
美雪さん

佳作
春一番
ほこりを連れて
やって来た
小結 [94p]
吉野町
悦子さん

笑いジワ
増えても楽し
ティータイム
うす味を
やさしい味と
褒めた亡母
前頭 [79p]
吉野町
悦子さん

年金日
笑顔が曇る
物価高
春が来て
胃袋目覚め
食すすむ
前頭 [69p]
奈良市
俊明さん

幕下 [29p]
奈良市
克治さん

序二段 [7p]
奈良市
治美さん

選者・倉橋みどり
俳人協会幹事・俳句結社「雲楽」主宰・読売新聞奈良版で「倉橋みどりの言葉歳時記」を月に一回連載中「NHK文化センター」などで俳句講座講師も。

作品募集

5・7・5という形であればOK。お一人様何句でも。掲載された方には記念品を差し上げます。応募の中から、特選1作、入選4作、佳作として5作の計10作を選出し、それぞれにポイントが加算されます。ポイントを貯めて番付を上げ、目指せ、ユーモア川柳界の「横綱」！

【応募先】〒630-8253 奈良市内侍原町12-2 yomiこ編集部「言葉あそび5・7・5」係 必ずYC名を 【FAX】0742-27-7413 【Mail】info@ynl.co.jp 【応募期】毎月20日

続きは電子書籍で見てね



Rakuten ブックス